

八郎たいむず

☆学校教育目標
気づく目・感じる心を持ち
主体的に行動する
生徒の育成

歓迎！
新しい「土井中生」
…入学式式辞

百二十名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。日本で二回目のオリンピックが開催される記念の年に、中学校に入学してこられた皆さんにとって、この入学は一生の思い出となることと思います。皆さんの門出を祝うかのように、天気は快晴、青空が広がっています。

この良き日に、ご多用の中にも関わらず、長崎市立土井首小学校長様、同じく南陽小学校長様のご臨席を賜り、令和三年長崎市立土井首中学校入学式を挙行できますことを、心より厚く御礼申し上げます。

残念ながら、新型コロナウイルス感染症の影響でこの式に参列していただくことはできませんでしたが、その他大勢の地域の皆様が、新入生の皆さんの入学をお祝いし、そしてこれから見守ってくださいます。安心して、新しい中学校生活に飛び込んでください。

夢を求め続ける勇氣さえあれば、すべての夢は必ず実現できる。
いつだって忘れないでほしい。
すべては一匹のねずみから始まったということを。

これは、ここに在るだれもが知っている、ある有名人に関係ある言葉です。その有名人とはだれのことだと思いますか？

「一匹のねずみ」の名前、それは「ミッキーマウス」です。この言葉は「ミッキーマウス」の生みの親、ウォルト・ディズニーの言葉です。

ディズニーはアニメーションの可能性を信じ、作品作りに力を注いでいましたが、世間からはなかなか認められませんでした。ある日、どうすればよいかと頭を悩ませながら、部屋の片隅に目をやると、そこにねずみがいました。そのねずみから新しいキャラクター「ミッキーマウス」を作り上げ、そして後に大成功につながったのです。

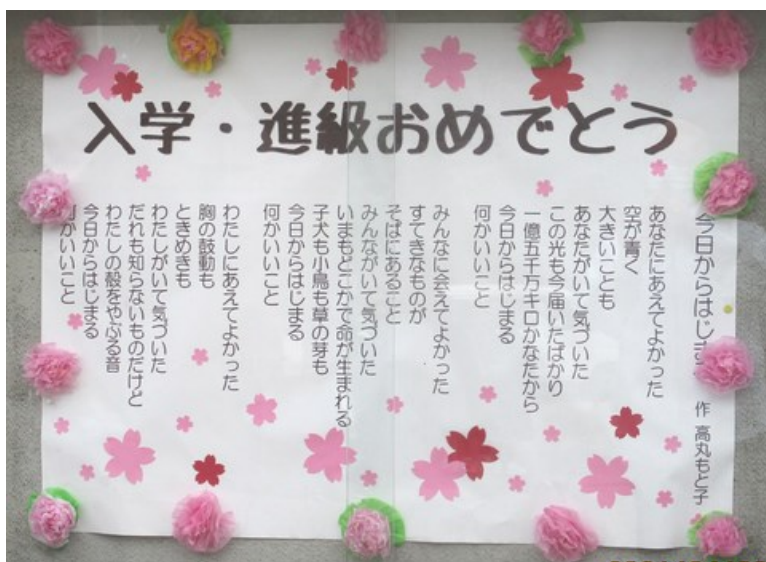
今、皆さんは大きな希望を抱いてここにいることと思います。将来の明確な夢を抱いている人も何人もいることでしょう。まだ夢を描ききれない人も、近い将来、必ず夢を持つことでしょう。いや、是非、夢を持つてください。そして、夢を実現しようとしてください。中学校は自分の夢を実現するための、大事な準備期間です。

夢は必ず実現できます。しかし、ただ黙って待つだけでも実現できません。夢を実現するために努力することです。夢が大きければ大きいほど、努力が必要になります。努力すれば、夢は自分に近づいてきます。努力しなければ夢は「夢」のまま終わってしまいます。

夢を叶えるチャンスはだれにも平等に与えられます。チャンスをものにできるかどうかは、自分の努力にかかっているのです。そこで皆さんに言葉を贈ります。

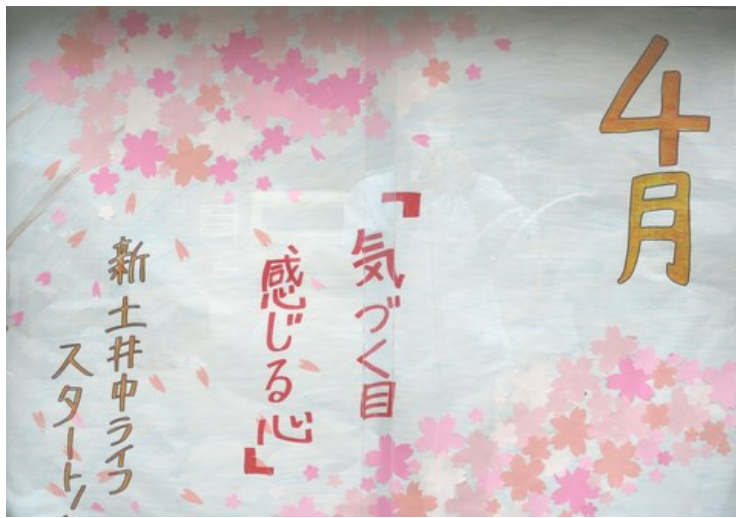
気づく目 感じる心
主体的に行動する

これは本校の教育目標です。「主体的に行動する」とは「自分で考えて、自分で行動する」ということです。周りのことをよく見、よく考え、そして自ら行動すること。このことを頭の片隅に常においてください。



八郎たいむず

☆学校教育目標
気づく目・感じる心を持ち
主体的に行動する
生徒の育成



そういう心がけで中学校三年間を過ごせば、きっと夢に大きく近づけることができるはず。皆さんが三年後、夢と希望を抱き、胸を張って本校を卒業することができるよう、私たち職員は精一杯、皆さんを導き、指導していきます。

最後になりましたが、保護者の皆様にご挨拶を申し上げます。

お子さまのご入学、誠にありがとうございます。私たち職員一同、子どもたちの限らない可能性を信じ、その力を最大限伸ばすよう、全力を挙げて教育活動に邁進していく所存です。しかし、子どもたちを伸ばしていくためにはご家庭の協力は不可欠です。学校と家庭は車の両輪でなければなりません。学校の教育方針をご理解の上、なにとぞご協力をよろしく願います。

土井首中学校の、そして土井首地区の伝統を引き継ぎ、新たな伝統を築き上げていくために、在校生、そして職員が一丸となって、地域の担い手である新入生を導いていくことを約束して、式辞といたします。

校長
福浦 豊治

新しい力を得て



始業式の日、着任式も執り行い、新しく土井首中学校に赴任して来られた先生方を紹介しました。「入学式の式辞」でも述べましたが、この出会いが、生徒・職員だれにとっても、自分を成長させる糧（かて）となります。この出会いを大切にしてください。

まだまだコロナが治まっていない今、今年もいろいろと苦勞することが出てくると思いますが、土井首中学校は、ここに関わる全ての人々が一丸となって、苦

難を乗り越えていきたいと思えます。そうすることで、だれもが一回りも二回りも成長できると信じています。

特に新しく来られた先生方には、新しい風を送り込んでもらいたいと期待しています。現状に甘んじることなく、常に上を目指し、成長し続ける土井首中学校（生徒、職員等）でありたいと思えます。

一言 学校は生徒がいてこそ「学校」です。春休みを終えて、学校にいつものように生徒たちの声が聞こえるようになり、ようやく「学校」になったなと感じます。

残念ながら、昨年度はコロナ対策でいろいろと

影響を受け、地域の方々とのふれあいも少なくなりましたが、今年は少しずつ改善されていくものと思えます。学校の様子は学校だよりやホームページでも情報発信していきますので、どうぞご覧ください。